MORINPIA KOZU NEWSLETTER

もりんぴあタイムズ

PUBLISHED BY KOZUNOMORI COMMUNITY CENTER

No.35

2023.2.28

次回は記念すべき 100 回開催！

2 月 26 日（日）3 階わんぱくルームにて『KOZU-KIDS チャレンジランキング』が行われました。このチャレンジランキングは幼稚園の年長さんから小学校 6 年生までを対象とした催し物で、5 種類の競技でタイムや回数・個数などを競います。競技は体力面などで上の学年が有利とならないように、運の要素を取り入れた競技も組み込み、4 ヶ月ごとに競技を入れ替えています。もりんぴあこうづが開館した 2013 年から毎月開催されており、この日は第 99 回を数え、次回 3 月 26 日の開催で記念すべき第 100 回を迎えます。

記録更新を狙い、毎月参加してくれる子、たまたま来館し参加してくれた子など様々な子がいますが、競技と向き合う姿はどの子も真剣そのもの。毎月白熱した戦いが繰り広げられます。また、この競技を審判・記録係として支えてくださるのは、ボランティアの方々。子どもたちの真剣な姿に、ストップウォッチやボールペンを持つ手に自然と力が入ります。このボランティアは随時募集していますので、ご希望の方は職員にお声掛けください。

この日の競技は箸で豆うつしランキング、あめジャンケンランキング、缶つみランキング、缶けりランキング、ランランランキングの 5 種目で 3 位までに入るとそれぞれにオリジナルの缶バッジメダルが授与されます。缶バッジをいっぱい集めたいと缶バッジ目当てで来る子もいます。

もりんぴあ大学のゼミが開講！

1 月 29 日（土）から 3 回にわたり、『もりんぴあ大学　歴史深堀ゼミ』が開講しました。

富里市教育委員会　教育部　生涯学習課　文化資源活用班　主幹　吉林昌寿さんに講師を務めて頂きました。

第 1 回目は、講師自己紹介ののち「馬から見た北総地域の歴史」（原始・古代編）として、日本文化の根源や北総地域の成り立ち、発掘された道具から見る当時の様子などを学んだ他、当時の生活に欠かせないものになっていた馬について、在来馬の種類や馬体など細かく学びました。

2 月 18 日の第 2 回目では、中世・近世編として、平安時代の源氏・平氏から江戸時代の牧士（野馬奉行という牧場の運営にあたる武士、武士にあたる身分）までを学びました。鎌倉時代、北総地域は馬の生産が盛んで、源頼朝の愛馬は下総産とも言われています。これ以外にも幕府に軍馬を供給していたとも言われています。牧士の説明では、旧藤崎牧士資料館から富里市に寄付された千葉県指定有形文化財の「佐倉牧の牧士資料」など貴重な資料の画像を交えて説明して頂いたので、より当時に情景を想像しやすくなりました。

参加者は熱心にメモをとり、休憩中や終了後に質問をする方もいました。

遠くまで飛ばそう！紙ヒコーキ教室

2 月 11 日（土）2 階 MORI×MORI ホールで行われた『空育®JAL折り紙ヒコーキ教室』で 35 名のちびっ子パイロットが自分で作った紙ヒコーキを飛ばして、飛行距離を競いました。

折り紙ヒコーキ協会の技術指導を受け、認定指導資格を持った JAL 社員 6 名が飛行機の仕組みの説明を加えながら、よく飛ぶ紙ヒコーキの折り方を一折ずつ丁寧に教えていました。

ひとえに紙ヒコーキと言っても、紙の材質・重さ、折り方などにより飛び方がかわる、奥が深いもの。今回は、いか飛行機とへそ飛行機の折り方を学びました。折り方は一緒でも、織りあげた角度、投げ方でも飛距離が変わってきます。最後には飛距離を競う大会が行われ、入賞者には特別な紙飛行機が送られました。

教室終了後、保護者の方と合流する子供たちの顔は笑顔で溢れていました。

もりんぴあこうづ季節の風物詩

公津の杜コミュニティセンター年末年始の風物詩、すっかりおなじみとなった季節の催し物。年末は「クリスマスミュージックフェスタ」が開催されました。

クリスマスミュージックフェスタは、クリスマスのロマンティックな雰囲気にマッチした良質なクラシック音楽を身近に体験して欲しいと企画されました。また、若手アーティスト・演奏家に発表の場を提供するという側面も持ちあわせています。

クリスマスイブの 12 月 24 日、第 2 部のメインでピアノ演奏を披露して頂いたのは青木智哉さん。バッハやリストの曲の他、聞き馴染みのあるディズニーの曲を織り交ぜ、リズムが軽快な曲では時折客席から自然と手拍子が聞こえてきました。

第 1 部では、成田市杜の少年少女合唱団がクリスマスメドレーを響き渡らせたのち、香取桃奈さん、竹ノ内優衣さん、竹ノ内美緒さんが「別れの曲、ツェルニー30、バラード 1 番」を田中恵美子さんのエレクトーンにあわせて演奏しました。

1 月 15 日（日）には新年を盛り上げるイベント『もりんぴあ　ザ・お正月』が開催されました。

2 階 MORI×MORI ホールでは、千葉県立成田国際高校の箏曲部による箏の演奏が行われ、春の海、さくらなど箏をイメージする曲 5 曲を演奏しました。その後行われた『もりんぴあ寄席』では落語 4 演目、漫才 1 演目が行われ、新春にふさわしい明るい笑い声がホールに響き渡りました。この他にエントランスに成田市立公津の杜中学校書道部生徒による書の展示やお正月らしい生け花が飾られました。また、入口には手作りの門松も飾られ、お正月らしい雰囲気を醸し出していました。

図書館だより

季節を楽しむ ふゆのおはなしかい

1 月 5 日(木)「杜のふゆのおはなしかい」を開催しました。兎年にちなみ、うさぎが主人公の絵本から始まりました。しりとり好きな王さまの、わがままぶりを笑ったり、ねずみたちのとる相撲を応援したりと、みんな、おはなしの世界に入り込んでいました。途中では、手を臼と杵に見立てて遊ぶ手遊びで、大人も一緒に、おもちをついて楽しみました。最後のおはなしでは、「年越そばを食べたよ」と教えてくれる子が多く、家庭で年中行事を大切にしている様子がうかがえ、心が温かくなりました。

杜のふゆのおはなしかい　プログラム
『うさぎのおうち』
マーガレット・ワイズ・ブラウン/ぶん　ほるぷ出版
『しりとりのだいすきなおうさま』 中村翔子/作　鈴木出版
『ねずみのすもう』 神沢利子/文　偕成社
「もちめがね」
『おそばのくきはなぜあかい』 石井桃子/文　岩波書店

はじめての木彫講座が大好評！！

昨年度に大変好評頂いた「はじめての木彫講座」を今年度も開催しました。今年度も大人気で、申込み開始日のはやい時間に定員がいっぱいになるほどでした。関心の高さを伺えます。今回も関口恵美さんにより彫刻刀の種類の説明から持ち方・使い方、下書きの方法、削り方など作業行程にあわせて丁寧に教えて頂きました。
全 5 回で仕上げるお地蔵様は同じ見本を使用していても、それぞれ個性が出ていました。

2 月 3 日の節分に豆まきを実施しました。コロナ禍により、ここ 2 年は受験シーズンにあわせ、必勝祈願豆を配布にとどまっていましたが、3 年ぶりに開催しました。以前は職員が鬼に扮して、その鬼にむかって「鬼は外」と大きな声で豆を投げていましたが、このご時世で向かい合ってあまり大きな声は出せない。今回は的に当てるゲーム性の高いもので実施。当てた数に応じて貰える豆もかわります。

なかよしひろばだより

写真講座を開催しました！！

2 月 26 日に子どもの写真をカメラやスマホで撮るコツを知る講座を 2 階の会議室で開催しました。ひろばの利用者でプロカメラマンの坂口交司さんが撮影時に意識すると良いことなどを話してくれました。その後、参加者の撮った子どもの写真を投影し、坂口さんが良い点やアドバイスを伝えてくれました。
更に、子どもの写真を自由に撮り、合間に坂口さんが一人一人の質問に丁寧に答えてくれました。再度、皆の撮った写真を見てみると、アドバイスが活かされた素敵な写真になっていました。参加者からは「いつもとはちがう素敵な写真が撮れました」との感想が寄せられました。
3 月 14 日から 2 階のギャラリーMORI×MORI で開催されるひろばの写真展“スマイルアートフェスタ”では子どもの笑顔が輝いている写真、遊びに夢中になっている写真が展示されます。ぜひ、足をお運びください。

写真講座の様子

昨年のアートフェスタ

おまけの１枚

3 月といえば桃の節句、ひな祭り。図書館入口前には、雛人形とひな祭りの雰囲気にぴったりな着物が飾られました。
着付け教室講師の山口 恵子さんのご協力のもと、例年の 7 段飾りとは違った華やかな展示となりました。

編　集　後　記

家族サービスで国立科学博物館に行ってきました。一番の目的は恐竜の骨格。大迫力に付き添いのはずのこっちまで大興奮！他にも学校で習ったなという単語が随所に出てくる。子供に『覚えておいたほうがいい』『じきに学校で習うよ！』等と話しながらめぐり、いいリフレッシュとなりました。（K）

寒さが和らぎすっかり春めいてきました。新規に購入したスタッドレスタイヤは活躍することなく夏タイヤへバトンタッチすることとなりそうです。我が家のスイセンも開花のピークを終え、クリスマスローズにはつぼみが見え始めました。花を観て季節の変化を感じるという人生に渋みが増してきたTです？！（T）

公津の杜コミュニティセンター
（指定管理者　アクティオ株式会社）
発行人：竹尾 裕之　　編集：鹿嶋 聡明
〒286-0048　千葉県成田市公津の杜４丁目８番地
TEL：0476－27－5252　FAX：0476－27－5353
E-mail：info-kozu@morinpiakozu.jp　HP：http://morinpiakozu.jp/

もりんぴあこうづ
MorinpiaKozu